



大町労山だより



2 VOL.1-NO5

2019 10/26

大町勤労者山の会

山行報告

北岳～農鳥岳縦走 9/10～10/13

参加者 秀さん(L)、森高、文ちゃん、順子

ルート1日目 奈良田～御池小屋～北岳肩の小屋 泊

2日目 肩の小屋～北岳～北岳山荘～中白根山～ 間ノ岳～農鳥小屋

3日目 農鳥小屋～西農鳥岳～農鳥岳～大門沢小屋 泊

4日目 大門沢小屋～奈良田

感想・・・文ちゃん

1日目…奈良田に車を置きバスで広河原に向かう。今日は白根御池小屋泊まりだったが、予定より早く着いたので北岳肩ノ小屋まで行くことにした。少しピッチを上げ、草スベリを一気に登る。容赦なく照りつける日差しに全身汗だくになった。16時肩ノ小屋に到着。

2日目…昨夜から雨が降り出した。朝には小降りになったがガスで山は見えない、風も強い。5時15分小屋を出発。足元だけを見て、ひたすら登る。憧れの北岳、間ノ岳は、姿を見る事なく通過した。

昨日がんばって肩ノ小屋まで上がったので、お昼前に農鳥小屋に着いた。受付で声をかけると薄暗い小屋の中から名物オヤジさん登場。一瞬緊張したがニコニコと上機嫌で拍子抜けした。かなり耳が遠くて話が噛み合わない。大丈夫かな？と不安になったがお金の計算はしっかりしていた。2時頃から雨が降り出した。宿泊客は私達を入れて9人、コタツが嬉しい。夕食は山菜とヒジキ、切り干し大根、椎茸が入った煮物と具沢山みそ汁、私好みのメニューで大満足。ただ垂れ流しのトイレは衝撃でした。

3日目…4時「奇跡的に晴れたな」と言ってオヤジさんが小屋に入って来た、満天の星だった。朝食をすませて日の出を待つ。雲海に浮かぶ富士山が幻想的、5時35分小屋を出発、農鳥岳から眺めた間ノ岳、北岳の姿は圧巻だった。こんな日にあの稜線を歩きたかった、ちょっと残念。大門沢下降点にリュックを置き、オヤジさんオススメの広河内岳を往復し大門沢小屋に13時10分到着。

4日目…最終日の奈良田までは4時間ほどの下りだが、足の疲労もピーク。気持ちを引き締め小屋を6時10分に出発する。丸太橋3本、渡渉3回、長い吊り橋2本と最後まで気が抜けない道だった。奈良田10時20分着。

森高

1日目広河原から北岳肩の小屋まで登る。今回の4日間で一番きつかった。でも、来たかった山で日の出を見るのに片足スリッパになってもわからないほどテンションが上がった。雄大な南アルプスを心ゆくまで楽しんだ。秀さんよりテント泊での楽しみ方を教えていただいたことが大変よかった。



農鳥岳



順子

8日からの計画が台風で登山バスが通行止め。解除を確認して10日から出発。9月10日(火) 晴れ、台風の影響はほとんどなかったとトンネル入り口の誘導員さんから聞き安心。御池小屋で宿泊予定だったが思ったより早く着いたことと、翌日の天気が悪いことを考慮して肩の小屋まで行くことに。コースタイムから遅くとも4時半には着けることを小屋へ予約して出発。無事4時に到着。汗だくになりながらよくがんばった。ビールで乾杯!



11日(水) 雨、合羽を着て出発。風はかなり強かったが雨はやんだりパラパラしたりで、小屋につくまでには合羽は乾いていた。前日頑張った分早く農鳥小屋へ入ることができた。農鳥の親父さんは登山者思いの人だった。

12日(木) 晴天、農鳥の親父さんに広河内岳へ寄っていけばいい、1時間で往復できると聞いて寄ることに。すばらしい南アルプスを見ることができ、寄っても13時過ぎには着くことができよかった。大門沢小屋にはズミがでる。前日かじられた話を聞き、少しビビったがこの日は大丈夫だった。

13日(金) 曇り、大門沢からの下りはかなりスリリングで、手づくり満載の橋、ゆれるつり橋、気が抜けない下りだった。リーダー秀さんがいなければ実現できなかった北岳。そして、計画に乗っていただいたメンバーに感謝です。4日間が終わるのが寂しいくらい楽しい山行でした。

南木曾岳

9/28(土) 参加者 しんじ(L)、順子、尾形、篠さん、文ちゃん、じゅんちゃ、森高、ei ei

報告・・・しんじ

7月に中止となっていた南木曾岳へのリベンジ山行に参加する。南木曾岳は木曾ではよく聞く名前なので1度は行ってみたい山だった。

松川道の駅を6時に出発し、蘭キャンプ場登山口に9時頃に着く。長野県の北部から3時間、長野県の広さを感じる。駐車場は当日地元ボランティア団体が呼びかけて一般登山者による修繕用資材を現地まで運搬してもらう日と重なり混雑していた。登山道脇には木曾五木のコウヤマキの大木があり木曾を感じる。天気は曇りでガスがかかりあまり展望はなし。天気が良ければ山頂を過ぎた避難小屋付近から御嶽・乗鞍、中央アルプスや北アルプス等が望める良いところのようです。登山道は木で作られた階段、梯子、鎖や橋があり、急な道だったが適度な時間で往復できる山でした。

安曇野への帰路は飯田方面から帰ることとし途中で看板を見て決めた滝見温泉「滝見の家」のお風呂と休憩はとても気持ち良かった。

<ヒヤリハットや危険箇所>

危険な箇所はないが木道・木の根で滑らないように注意が必要



唐松岳～五竜岳

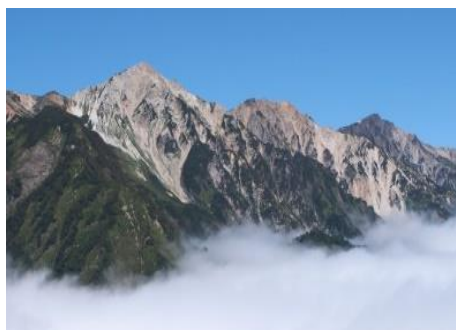
9/19～20 聡子単独

ルート八方尾根～唐松岳～五竜岳～遠見尾根

初日の出だしは霧雨だったが、八方ケルンに着く頃には青空に。雲海と連なる山の素晴らしい景色。唐松岳山頂では吸い込む空気が冷たすぎて鼻が痛かった。唐松岳から五竜に向かう牛首の岩場は濡れていると滑りやすそうだったので雨の日は通りたく



ない。予定より早い時間に五竜山荘に着け、天気も初日の方が良さそうだったのでテントを設営してから五竜山頂へ。360度の展望でゆっくりしたかったけど日が暮れてしまうので早々にテントに戻った。翌日は下山だけだったので ゆっくり出発。気持ちに余裕が出来たし、早朝は寒かったのが前の日に山頂に行っておいて良かった。



北信越交流登山 10/5~6

参加者 しんじ、白馬の山人、秀さん、じゅんちゃ、尾形、森高、順子
感想 森高



5日に雄山の予定だったが、お天気が良くないので風の盆(八尾)や岩瀬の北前船問屋の森家などを見学する。交流会は楽しそうであったが、朝早かったので眠くなりテントの中で山の歌を聞く。次回は参加したいものである。

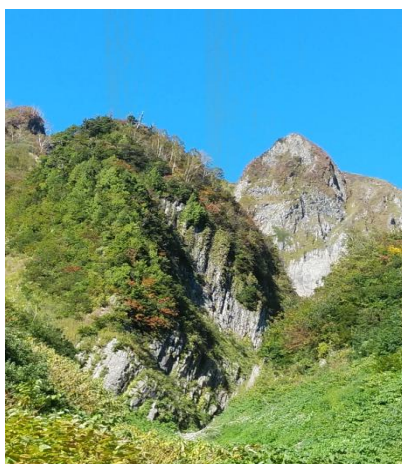


6日早朝のケーブルカーの為、バタバタする。天気はスッキリしないが、雄山では晴れてすばらしい眺めであった。テントは女性の方が色々大変である。お世話になりました。有難うございました。



雨飾山 10/10 有岡+1

6:00 雨飾高原キャンプ場登山口に到着。平日にもかかわらず車は満杯、幸い2~3台分の空きはあったので駐車でき、6:15に登山口を出発。雲一つない上天気。出発してすぐの湿地帯そばの小川ではイワナが泳いでいる。30分で尾根に取り付いてからは順調に高度を上げる。プナ平周辺はプナの巨木が



登山に先立って10/9は、八方池・下の樺までの散歩

多いがブナの黄葉はやっと始まりかけといった所。約2時間で荒菅沢に到着。紅葉はまだ真っ盛りとは言えない感じ。ここで沢を渡渉して尾根登りが始まる。いい汗を1時間程かくと稜線に出る。ここから山頂直下までは平坦な稜線歩きとなる。最後に頂上直下の急登を登ると、頂上から少し霞がかかった北アルプス方面が槍の穂先まで見える。紅葉はイマイチだったが好天に恵まれて良い汗をかきました。

八海山 10/16~10/17 ルート 八海山ロープウェイ~千本檜小屋~八ッ峰~新開道

参加者 白馬の山人、じゅんちゃ、もりひこ、秀さん、森高、順子、聡子

コースタイム

1日目 ロープウェイ山頂駅(11:30)~女人堂(12:50-13:10)~薬師岳(14:00)~千本檜小屋(14:20)

2日目 千本檜小屋(6:30)~大日岳(8:05)~新開道分岐(8:55)~カップン倉(10:55)~二合目駐車場(12:55)

山行報告(感想など) 聡子

1日目 8:00に美麻のぼかぼかランドに集合し、森高号に全員乗り込んで八海山ロープウェイへ。朝の道路混雑が影響したのか予定より30分遅れで駐車場に到着。毎回思いますが新潟は遠い・・・。

11:20 発のロープウェイで山頂駅へ。樹林帯を歩き最初の休憩ポイントの女人堂を目指します。道は所々粘土質の赤土で滑りやすかったです。女人堂は無人ですがトイレがありました。女人堂から上は紅葉が綺麗。初日唯一のピーク、薬師岳の手前には長い鎖場があり、岩が濡れていたので注意が必要です。薬師岳までで往復ロープウェイ日帰りという方がほとんどみたいでした。

小屋に着いてからは宴会。秀さんが持ってきていた塩昆布と切り干し大根を混ぜた行動食、軽いし栄養もあるので今度から真似しようと思います。この日泊まった千本檜小屋は一泊二食で7000円。アルプスに比べると食事は質素でしたが料金も安いし建物も新しく綺麗で、何より空いていて快適でした。(この日は私達の他に一人だけでした)ただ夜は寒くてレインウェアを着てカイロも貼ってしのぎました。

2日目 予報では晴れる筈だったのですが曇りスタートで風が冷たい。出発してすぐ八ッ峰なので気を引き締めます。八ッ峰には鎖場が19ヶ所あり、手と足を両方使って登り降りしました。垂直に近い高度感のある所もありましたが進まないし帰れないので必死に鎖に掴まって下りました。八ッ峰にはピークが8ヶ所あるのですが山頂碑がないのか半分ほどしか気付けませんでした。約2時間かけて八ッ峰を越え、もう安心と思ったのですが下山に使った新開道も長いハシゴや急な下り、湿って滑る岩場のトラバースなどがあり、カップン倉まで気が抜けなかったです。そしてもう安心かと思いきや今度は滑る赤土が続き全行程なかなか大変な道でした。

八海山ロープウェイの駐車場に戻るにはバスがあるのですが1日に4本しかなく時間が合わなかったので新開道二合目までタクシーに来て貰い、楽をし



て駐車場に戻りました。バス停まで 30 分位歩くのが省略されたのと思いのほか料金が安かったのでタクシーにして良かったです。

<ヒヤリハットや危険箇所>

トラバース道で濡れている木の根で横滑りして転びました。笹を掴んでいたの下に落ちなくてすみましたが、一瞬の気の緩みが大きな事故に繋がるので気を付けなければと思いました。

順子

そう言えば言ったかな? 「巻機山から向こうに見える八海山にも行きたいね」と。鎖で登って、鎖で降りるの繰り返しの山だった。下山の新開道コースは、長ーいはしご、急な下りに鎖、岩場のトラバースと、ほかではなかなかない道を下る、下る、4 時間。林道に出てほっ!。紅葉が始まっていてきれい。満腹の山行でした。

奥秩父・金峰山 他 10月 19日(土)~20日(日)

参加者 しんじ、白馬の山人、尾形、秀さん、森高、たかのぶ、有岡、順子、美代子、いくぼ

19日:大弛峠→国師ヶ岳→北奥千丈岳→大弛峠

20日:大弛峠→朝日岳→金峰山(ピストン)

コースタイム

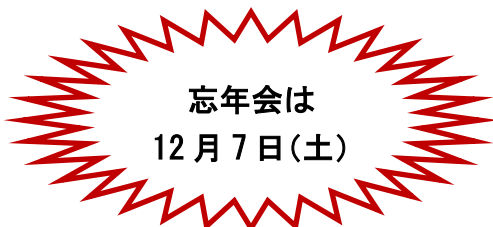
19日:大弛峠(11:15)→国師ヶ岳(12:30)→(12:47)北奥仙丈岳(12:53)→(13:35)大弛峠

20日:大弛峠(7:10)→朝日岳(9:10)→(10:35)金峰山(11:20)→大弛峠(13:55)

山行報告(感想など) しんじ

7月27~28日計画の夏合宿が台風直撃コースで今回となりました。今回も前半は好天が望めず雨を覚悟での出発。19日の行程は短いので、朝7時松川道の駅発とする。大弛峠までは順調に走り10:30過ぎに到着。天気は小雨、テン場にはテントは無く駐車場にも車が2台程度。小屋番からは台風19号でしばらく通行止めとなり、その後も天気が良くないので1週間ぶりの客と言われた。国師ヶ岳、北奥仙丈岳とも問題なく歩けた。雨は小降りだがガスっていて展望は全く無し。「夢の庭園」からの景色を想像しながら峠に下山した。テントを設営し食事の準備、今回は夜、朝、昼の3食うどんの献立、夕食にムサシヤのマトンの焼肉。意外と美味しくて完食だった。

20日はうどんを食べて、濡れたテントを片付け、1時間遅れの出発。徐々に青空が広がり途中から富士山も。南アルプス、八ヶ岳、白い岩肌の瑞牆山も眼下に見渡せ最高の展望となった。峠に帰り、最後のうどんを食べ、はやぶさ温泉で汗を流し帰った。



機関紙部より会員の皆様にアンケートをお願いします。今年登った山で印象に残った山・良かった山、来年登りたい山や目標など。山行が少なかった人も是非来年の目標や抱負を!今年もあと2か月で終わってしまう。